

No. 545  
2016年  
12月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055  
http://www.orsj.or.jp/

## 2017～2018年度役員選挙日程

OR学会における2017～2018年度役員（理事、監事）選挙は、2017年2月に名誉会員、正会員による郵送投票の予定です。ただし、改選数と候補者数が同数の場合、無投票になることがあります。

## ● 2017～2018年度 役員候補者ご推薦のお願い

役員規程に従って2017～2018年度の役員を選出を行います。つきましては、候補者のご推薦をお願いいたします。

- ・推薦者は、名誉会員または正会員5名以上とし、ご本人の同意を得たうえでご推薦ください。
- ・会務の分担ごとの選挙のため、下記推薦届の□に✓を入れてください。
- ・推薦届締切：2016年12月15日
- ・推薦届送り先：OR学会事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
役員選挙管理委員会

..... 切り取り線 .....

2016年 月 日

## 役員候補者推薦届

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

2017～2018年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- |                                    |                               |                                      |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 副会長（2名）   | <input type="checkbox"/> 庶務理事 | <input type="checkbox"/> 国際理事        | <input type="checkbox"/> 研究普及理事（研究） |
| <input type="checkbox"/> 編集理事（機関誌） | <input type="checkbox"/> 支部理事 | <input type="checkbox"/> 無任所理事（支部所属） | <input type="checkbox"/> 監事         |

..... 氏を推薦いたします。

推薦代表者： \_\_\_\_\_ ⑩（所属： \_\_\_\_\_）

\_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_ ⑩

\_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_ ⑩

候補者略歴（100字程度）

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

上記の推薦に同意します。候補者 \_\_\_\_\_ ⑩（所属： \_\_\_\_\_）

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

### 推薦締切日

1. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2017年1月31日
2. 学生論文賞：2017年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞50万円／1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞20万円／1名）

### 〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞30万円／1件）

### 〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

## ● 2017年春季研究発表会 （創立60周年記念大会）

日程：2017年3月15日（水）～3月17日（金）

3月15日（水）午後

特別講演、表彰式（一般講演セッションはありません）

3月16日（木）

一般講演等、懇親会

3月17日（金）

一般講演等

・研究発表会の開催期間を3日間とし、春季シンポジウムは併催しません。

場 所：沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市旭町116-37）

研究発表会HP：<http://orsj.or.jp/~nc2017s/>

テーマ：「ORの新展開—さらなる変革と融合と発展を目指して—」

“New perspectives of Operations Research: Towards innovative fusion”

特別講演：3月15日（水）13:00～（予定）

- ・外山俊明氏（全日本空輸（株）執行役員貨物事業室長／（株）ANA Cargo代表取締役社長）
- ・松原仁氏（公立はこだて未来大学教授）
- ・未定（第6回近藤賞受賞者予定）

### 発表申込み：

2016年12月1日（木）～2017年1月9日（月・祝）

実行委員長：山下英明（首都大学東京）

## ● 2017年度研究部会新設および継続の申請について

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしております。研究部会の設置期間は、原則として2年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助もいたします。研究テーマは、基礎理論から実

実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

今年度活動中の研究部会・グループは以下のとおりです。詳しくは学会WEBをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/activity/sig.html>

<b>特設研究部会</b>	
<b>オリンピック、パラリンピックとOR</b>	
1	危機管理
2	エネルギー
3	スケジューリング、ロジスティクス
4	施設・交通
5	人の動きの数理モデル、ビッグデータ
<b>常設研究部会</b>	
1	待ち行列
2	数理計画 (RAMP)
3	評価のOR
4	意思決定法
5	サプライチェーン戦略
<b>研究部会</b>	
1	安全・安心・強靱な社会とOR
2	確率モデルとその応用
3	信頼性
4	ビッグデータとマーケティング分析
5	リーマンマネジメントシステム
6	アグリサプライチェーンマネジメント
7	最適化の基盤とフロンティア
8	数理的発想とその実践
9	不確実性環境下の意思決定モデリング
10	分散アルゴリズムの応用と理論
11	ORによる大規模インフラストラクチャー分析
<b>研究グループ</b>	
1	地域課題解決のOR

申請の締切は新設・継続ともに12月9日(金)です。申請用紙は事務局までご請求ください。

### ● 研究部会・グループ開催案内

〔不確実性環境下の意思決定モデリング〕

部会 URL : <http://www.oit.ac.jp/or/>

・第10回

日 時 : 2016年12月10日(土) 14:00~17:00 (開場 13:30より)

場 所 : サムティフェイム新大阪4階4F-G (大阪市淀川区西中島6-5-3)

<http://fame.hey.ne.jp/>

テーマと講師 :

(1) 「Stackelberg型施設配置問題へのFireflyアルゴ

リズムの適用」

大角盛広 (神戸学院大学)

Fireflyアルゴリズムはホタルの動きをシミュレートすることで最適解を探索する比較的新しいマルチエージェント型メタヒューリスティクスである。このアルゴリズムを再帰化することにより先手後手の区別のある施設配置問題を解く。数値実験において遺伝的アルゴリズムを使った場合との比較も示す。

(2) 「S勤務表作成と最適化モデリング」

池上敦子 (成蹊大学)

人の生活に大きく関わる勤務表作成においては、勤務表作成者が明示しきれない潜在的な評価尺度が存在するため、最適化モデルが与える解をそのまま利用できない場合も多い。本講演では、勤務表作成における最適化モデリングについて、そして、モデルが与える解と現場で目指す解の間を埋めるための情報について考えてみる。

問合せ先 : 中西真悟 (大阪工業大学)

E-mail: [nakanisi@dim.oit.ac.jp](mailto:nakanisi@dim.oit.ac.jp)

〔待ち行列〕

部会 URL : <http://www.orsj.or.jp/queue/>

・第265回

日 時 : 2016年12月17日(土) 14:00~17:00

場 所 : 東京工業大学大岡山キャンパス西8号館 (W) 809号室

テーマと講師 :

(1) 「連続時間マルコフ連鎖の準定常分布ならびに感度関数の算出について」

岡村寛之 (広島大学)

(2) 「集団サービスを持つ優先権付き待ち行列によるビットコイン・トランザクション承認時間解析」

笠原正治 (奈良先端科学技術大学院大学)

問合せ先 : 佐久間 大 (防衛大学校)

E-mail: [sakuma@da.ac.jp](mailto:sakuma@da.ac.jp)

〔信頼性〕

部会 URL : <http://www.comp.sd.tmu.ac.jp/xiao/social-activity/index.html>

・第18回

日 時 : 2016年12月17日(土) 10:00~12:00

場 所 : マホロバマインズ三浦 (神奈川県三浦市南浦町上宮田3231) [http://www.maholova-minds.com/?utm\\_source=adwords\\_search&utm\\_medium=cpc](http://www.maholova-minds.com/?utm_source=adwords_search&utm_medium=cpc)

## テーマと講師：

- (1) 「ランダム作業時間に従事する船舶搭載システムの保全方策について」

北川智大 (防衛大学校)

船舶がある確率分布に従うランダムな長さの航海に従事する場合、それに搭載されているシステムについても同じ時間だけ作業することが求められる。このような船舶搭載システムの保全は、一般的に航海終了後に岸壁やドックで行われるため、修理等の遅れ時間を加味する必要がある。本発表は2部構成となっており、第1部では、システムの故障が船内の予備アイテム等により即座に修理可能な場合と、航海終了後に修理される場合とに確率的に区別できる問題を扱う。この確率が予備アイテム等の搭載コストと既知の関係があると仮定し、ある平均アベイラビリティを満たしつつ、平均コストレートを最小にする最適な確率について議論する。これは、船舶に搭載する予備アイテム等にかけるコストを最適化することと同等である。第2部では、ランダムな長さの航海時間が事前に付与される状況を想定する。システムの故障に対して、航海中に緊急的に修理するか、航海終了後に修理するか選択できるとし、故障発生時刻に応じた合理的な修理時期の選択について議論する。

- (2) 「依存故障する  $n$  素子直並列システムの信頼性解析～EFGM コピュラを用いて～」

太田修平 (法政大学大学院)

互いに依存して故障する素子によって構成される、コヒーレントなシステムの故障の特性を解析することは、信頼性工学において、非常に重要な課題である。本講演では、複数素子の寿命時間が互いに確率的に依存している、 $n$  素子直並列システムの信頼性解析について議論する。具体的には、 $n$  素子直並列システムを、同時分布関数の EFGM コピュラによる表現を用いてモデル化し、そのシステムの信頼性評価を行う。特に、 $n$  変量 EFGM コピュラがもつ、依存パラメータの制約に注意しながら、システムの MTTF を解析的に導出し、システムの寿命と、素子間の依存性の強さの関係について議論する。また、いくつかの数値例とともに、モデルの特性について述べる。

- (3) “How to determine maintenance units in modularized systems?”

Wong Young Yun 氏 (Pusan National University, Korea)

In this paper, we consider an optimization

problem in which we determine the maintenance units in modularized systems. The modularized system has a hierarchical structure in design phase and has several modules. Each module also consists of some components. When some components fail, then the system fails and we should maintain correctively the system. We can replace the failed components or the module with the failed components. We want to determine the maintenance units in the modularized system with hierarchical structure. The system availability and maintenance cost are used as optimization criteria. Numerical examples are also studied.

**懇親会：**(研究部会忘年会) 研究会終了後、横須賀市内で開催を予定しています。

**問合せ先：**幹事 法政大学 田村信幸

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

\* 研究会への参加費は無料ですが、資料等の準備の関係上、聴講を希望する方は12月9日(金)までに幹事までお知らせください。

\* 2016年度最後のOR学会信頼性研究会は、上記のとおり神奈川県三浦市で開催する予定です。前日の16日(金)には電子情報通信学会信頼性研究会が同じ場所で開催されますので、合わせてご案内申し上げます。

## 【意思決定法】

**部会 URL：**<https://sites.google.com/site/decisionorsj/>  
・第40回 (学生大会)

**日時：**2017年1月24日(火)16:00~18:00

**場所：**日本大学桜門会館303会議室(千代田区五番町2-6)

[https://www.nihon-u.ac.jp/access\\_map/map/oumon/](https://www.nihon-u.ac.jp/access_map/map/oumon/)

**発表募集：**学生の発表講演者を募集します。

\* 終了後、懇親会を予定しています。

**問合せ先：**西澤一友 (日本大学)

TEL: 047-474-2664

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

## ● 他学協会協賛案内

学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・スケジュールリング国際シンポジウム2017

日 程：2017年6月23日(金)～25日(日)

場 所：南山大学名古屋キャンパス（名古屋市昭和区山里町18）

主 催：スケジュールリング学会

協賛学会参加費：スケジュールリング学会会員価格に準ずる

WEB：http://www.scheduling.jp/iss/2017/

● 公募案内

（詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。）

・電気通信大学大学院

募集人員：准教授1名

担当学部・研究科等：大学院情報理工学研究科

情報・ネットワーク工学専攻電子情報学プログラム

募集分野：グラフ信号処理とビッグデータへの応用分野

担当科目等：信号処理系科目、電気・電子回路系科目

等、また、電子情報学実験（回路系、信号処理系、情報通信系など）、電子工学工房、先端工学基礎課程アナログ回路実験、基礎科学実験（1年次の実践教育科目）などから担当。また学部基礎科目等を担当する場合あり。卒業研究と大学院の研究指導。

応募資格：(1) 着任時に37歳以下である方、(2) 博士の学位を有すること、(3) 上記の専門分野において研究実績があり、教育と研究を通して同分野の発展に貢献できること、(4) 情報系・工学系の大学院学生に向けた研究指導および講義を担当できること、(5) 日本語により学生を指導できること、(6) 国際的に活躍できること

勤務形態：常勤（任期なし（定年制））

給与：年俸制（本学の規定による）

採用予定日：2017年3月1日以降のできるだけ早い時期

応募書類：(1) 応募申請書類（写真貼付、履歴書、研究業績リスト）

http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/oubo\_sinseisyo.pdf（PDFファイル）

http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/date/oubo\_sinseisyo.doc（MS-wordファイル）

(2) 専門分野に関連する主要論文の別刷りまたはコピー（5編程度）、(3) これまでの研究概要、(4) 今後の研究計画概要、(5) 研究・教育に関する経験や理念・抱負など、(6) 参考となる意見を伺える方国内2名、国外2名のお名前、ご所属、職位、連絡先住所（E-mailアドレスを含む）、および応募者との関係。(7) 以上(1)～(6)の書類を電子ファイル（PDF）にして格納したCD-ROM、USBメモリ等の記録媒体、(8) 返信用封筒（定型封筒に返信先を明記し、82円切手貼付）

応募方法：応募書類一式を次の書類送付先に簡易書留で郵送してください。

書類送付先：〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1  
電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻事務室（西9-309室）

専攻長 教授 仲谷栄伸宛

- ・送付封筒の表に「グラフ信号処理とビッグデータへの応用分野教員応募書類在中」と朱書き。
- ・書類発送の旨を「グラフ信号処理とビッグデータへの応用分野教員応募」と件名に記入してメールで連絡のこと。

問合せ先：電気通信大学大学院情報理工学研究科

教授 森田啓義 E-mail: morita@uec.ac.jp

応募締切：2016年12月16日(金)17:00必着

選考方法：書類審査を通過した方に対して、人事面接による審査。

● 新入会員 (2016年10月理事会承認分)

—正会員—

橘 弘幸	三井造船(株) (中国・四国支部)
加藤 隆幸	オークマ(株) (中部支部)
本田 あおい	九州工業大学 (九州支部)
吉田 賢一郎	オリエンタルモーター(株)
角 有司	宇宙航空研究開発機構
堤 利幸	明治大学
安東 弘泰	筑波大学
鹿島 亨	アズビル(株)
下村 研一	神戸大学 (関西支部)
水村 倫子	(株)クニエ
原 栄一	宇宙航空研究開発機構
駒井 皓宇	北陸トスパック(株) (中部支部)
梅田 豊裕	(株)神戸製鋼所 (関西支部)
福井 雄一郎	カゴメ(株) (中部支部)
岸原 大樹	新日鐵住金(株) (九州支部)

—学生会員—

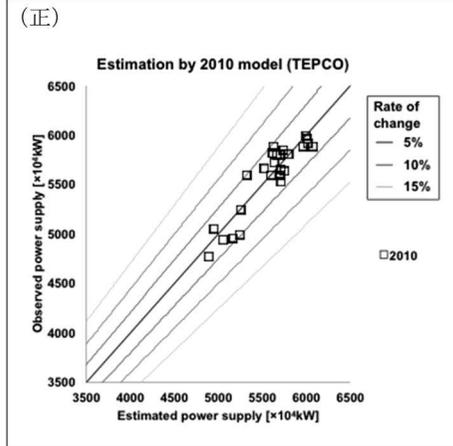
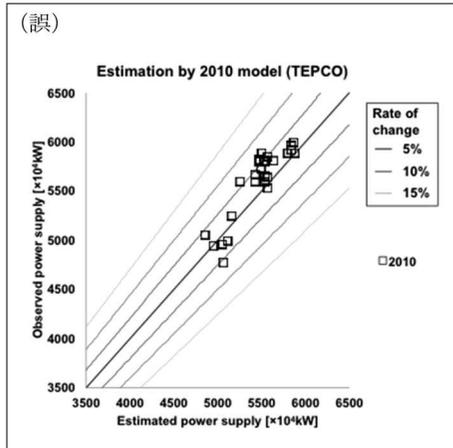
石川 尚	東京理科大学
宮田 鉄矢	防衛大学校
今仁 武臣	慶應義塾大学
牛垣 龍一	東京工業大学
丸尾 亜美	東海大学
若林 優妃	筑波大学
諸岡 祐太	早稲田大学
花登 駿介	東京工業大学
戚 雨瀟	大阪大学 (関西支部)
下田 智和	東京農工大学
知野 孝祐	東京工業大学
坂井 祐輝	静岡大学 (中部支部)
南 翔太	静岡大学 (中部支部)
山口 大貴	九州大学 (九州支部)
藤井 秀幸	福岡工業大学 (九州支部)
市原 寛之	南山大学 (中部支部)
山中 寿登	九州大学 (九州支部)
迫田 賢宜	九州大学 (九州支部)
筒井 貴之	九州大学 (九州支部)

\* 支部表記のない方は本部所属です。

訂正

第61巻第10号に掲載された論文・事例研究「最大電力供給の統計的解析と節電について—東日本大震災がもたらした構造変化—」(荒川俊也, 土谷 隆)の内, 図3 (右) が誤っておりました。深くお詫びし, ここに以下のとおり訂正させていただきます。

荒川俊也・土谷 隆



\*\*\*\*\*

## 2016年度 第4回 ORセミナー

## 『統計分析の基本—データを用いて意思決定する方法を学ぼう』

\*\*\*\*\*

**開催趣旨：**ビッグデータの流行とともに、分析用のソフトウェアやクラウドサービスなどが普及しています。統計の知識がなくてもこれらを使えば、何らかの結果を得ることはできますが、内部ではどのような分析が行われているのでしょうか？正しい結果を得るためには、基本的な分析の知識が必要です。今回のORセミナーでは実際の例を交え、さまざまな統計分析の手法を基本から紹介します。

**日 時：**2016年12月10日（土）10:00～17:10

**会 場：**大阪大学 大学院情報科学研究科 講義室

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-5

<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/access/suita-campus.html>

**主 催：**OR学会関西支部とOR学会本部

**コーディネーター：**OR学会関西支部副支部長 大阪大学 森田浩

**定 員：**60名（定員になり次第締め切らせていただきます。）

**プログラム：**（敬称略）

10:00～10:05 開会挨拶

**第1部「因果分析と要因探索のための多変量解析法」** 講師：立教大学 山口和範

10:05～10:55, 11:05～11:55, 13:00～13:50

統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

**第2部「解析例でみる統計的モデリングのプロセス」** 講師：東京工業大学 野村俊一

14:10～15:00, 15:10～16:00, 16:10～17:00

統計的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータに基づいて、データが生み出される確率的構造を推測することである。本セミナーでは、主に保険のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

17:00～17:10 閉会挨拶・アンケート記入

**備 考：**このセミナーは、2015年度第1回ORセミナーおよび2016年度第1回ORセミナーと重複する内容があります。

**参加費（テキスト代込み）：**正・賛助会員（協賛学会員を含む）5,000円、学生会員1,000円、学生非会員1,500円、非会員20,000円

**協賛学会（正会員と参加費同額）：**日本経営工学会（JIMA）、日本品質管理学会（JSQC）、日本信頼性学会（REAJ）、研究・イノベーション学会（JSRPIM）、日本設備管理学会（SOPE-J）、経営情報学会（JASMIN）、プロジェクトマネジメント学会（SPM）

**2017年度年会費納入のお願い**

2017年度（2017年3月1日～2018年2月28日）年会費の請求書を11月に発送しました。納入期限は2016年12月末日となっていますので、お早目にご入金ください。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行  
根津支店（店番号235）普通1124744  
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
カナ：シヤ）オペレーションズ  
リサーチガクカイ

郵便振替口座  
00190-6-79492  
口座名：公社）日本オペレーションズ  
リサーチ学会

ゆうちょ銀行  
〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）  
当座 0079492  
口座名：公社）日本オペレーションズ  
リサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円  
学生会員 5,000円  
シニア会員 7,200円  
\*手数料は払込人様ご負担をお願いします。  
\*お名前はフルネームでお書きください。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2017年1月20日に「2017年度年会費」を引き落としの予定です。

**2016年3月ご卒業の学生会員の方へ**

1) **ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度の会費はそのままです。2016年11月に2017年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

2) **退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。  
2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055  
\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。  
（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）  
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。